【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2001-285846(P2001-285846A)
【公開日】平成13年10月12日(2001.10.12)
【出願番号】特願2000-101675(P2000-101675)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　 7/18
　Ｈ０４Ｌ　12/28
　Ｈ０４Ｎ　 5/225
　Ｈ０４Ｎ　 5/232
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　 7/18　　Ｄ
　Ｈ０４Ｎ　 7/18　　Ｆ
　Ｈ０４Ｎ　 5/225　　Ｃ
　Ｈ０４Ｎ　 5/232　　Ｚ
　Ｈ０４Ｌ　11/00　３１０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月31日(2005.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ＩＥＥＥ１３９４、ＵＳＢ(Universal Serial Bus)等の高速ディジタル伝送バスを用いて複数の映像機器をネットワーク接続し、所定の映像機器間で所望の映像データを送受する映像伝送システムにおいて、上記所定の映像機器でそれぞれ映像データを処理する場合、上記ネットワーク上の他の所定の映像機器から所定の映像データ処理用プログラムデータをそれぞれ受信し、当該映像データ処理用プログラムデータに基づきそれぞれ対応する映像データの処理をすることを特徴とする映像伝送処理方法。
【請求項２】
　請求項１において、上記所定の映像機器におけるデータ処理の内容を変更する場合、上記ネットワーク上の他の所定の映像機器に、それぞれ対応するデータ処理用プログラムデータを要求し、当該要求に応答したそれぞれの所定の映像データ処理用プログラムデータを受信することを特徴とする映像伝送処理方法。
【請求項３】
　請求項１または２において、上記ネットワーク上の他の所定の映像機器にて、上記所定の映像機器におけるデータ処理の内容をそれぞれ変更するためのスケジューリングをすることを特徴とする映像伝送処理方法。
【請求項４】
　請求項１乃至３において、上記所定の映像機器におけるそれぞれのデータ処理を、複数の処理に分割し、それぞれの処理をそれぞれの映像機器に分散させて処理することを特徴とする映像伝送処理方法。
【請求項５】
　ＩＥＥＥ１３９４、ＵＳＢ(Universal Serial Bus)等の高速ディジタル伝送バスを用いて複数の映像機器をネットワーク接続し、所定の映像機器間で所望の映像データを送受す

る映像伝送システムにおいて、上記複数の所定の映像機器に、それぞれ、上記ネットワーク上の他の所定の映像機器から所定の映像データ処理用プログラムデータを受信する手段と、当該映像データ処理用プログラムデータに基づきそれぞれ対応する映像データの処理をする手段を有することを特徴とする映像伝送装置。